

**環境ビジョン等の修正案 及び
「資源が循環するまち」「未来へつなぐまち」の
施策の方向性・主な取組(案)について**

2023年7月12日

全体のスケジュール

	環境審議会	脱炭素部会	市	計画の項目
2022年 11月	【第1回】 ・計画概要の検討、部会発足の承認	【第1回】 ・部会の役割、今後の審議事項の確認		
2023年 1月		【第2回】 ・脱炭素に関するビジョンと施策の方向性の検討 ・脱炭素シナリオの作成方法の説明	庁内ヒアリング 市民懇談会の案内、アンケート実施	3章：守山市の目指す環境ビジョン 4章：各ビジョンの実現に向けた施策
2月	【第2回】 ・計画全体の構成、環境ビジョン、施策の方向性の検討 ・市民懇談会の報告		2/4(土) 市民懇談会	序章：2050年守山市のありたい姿
			庁内ヒアリング	3章：守山市の目指す環境ビジョン 4章：各ビジョンの実現に向けた施策
3月			事業者ヒアリングの実施	4章：各ビジョンの実現に向けた施策
4月		【第3回】 ・部門毎の温室効果ガス削減目標の検討 ・再エネ導入目標の検討		
5月	【第3回】 ・「自然と共生するまち」「快適に暮らせるまち」の施策の方向性、具体的取組の検討			
6月		【第4回】 ・事業者ヒアリングの報告 ・「脱炭素化を実現するまち」の施策の方向性、具体的取組、指標の検討		
7月	【第4回】 ・「資源が循環するまち」「未来へつなぐまち」の施策の方向性、具体的取組の検討			
8～9月		【第5回】 素案の検討		
10～11月		【第6回】 最終案の検討	パブリックコメント	

本日議論する事項

① 環境ビジョン 修正案

←確認・決定

② 「自然と共生するまち」「快適に暮らせるまち」の施策の方向性と主な取組 修正案

←確認・決定

③ 「資源が循環するまち」「未来へつなぐまち」の施策の方向性と主な取組について

←検討（・決定） ※修正点があれば次回に決定

④ 進捗指標（案）

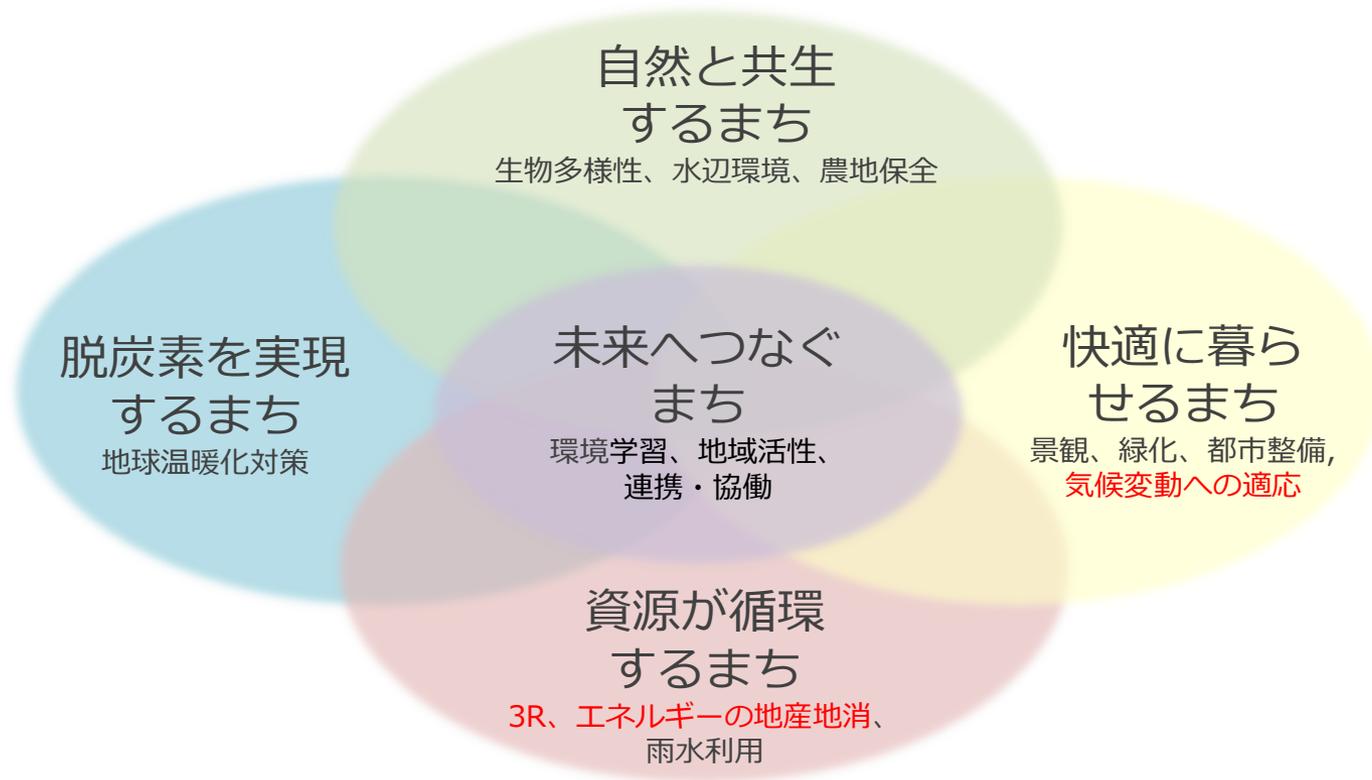
←検討（・決定） ※修正点があれば次回に決定

環境ビジョン 修正案

環境ビジョン 修正案

目指す環境ビジョン

環境学習を通して共に学び・考え・行動し、
豊かな地球環境を守り、未来へつなぐ



環境ビジョン 修正案

環境ビジョンを構成する分野

自然と共生
するまち

**豊かな自然や水環境の中に多様な生物が生息し、
私たちと共に暮らしている**

前回：きれいな水と豊かな自然、多様な生物が生息し、人と自然が共生している

脱炭素を実
現するまち

**脱炭素社会を実現するための技術やライフスタイルが
浸透している**

資源が循環
するまち

**限りある資源を大切に使うとともに、地域資源を最大限に
活用する持続可能なまちになっている**

前回：限りある資源を効率的に使い、環境にも経済にも生活にも優しいまちになっている

快適に暮ら
せるまち

**緑豊かな風景と守山らしい景観に人々が愛着をもち、
安心して暮らせる**

未来へ
つなぐまち

**市民、事業者、行政が協働することで、守山らしい
誇りをもてるまちを将来世代へ受け継ぐ**

「自然と共生するまち」「快適に暮らせるまち」の 施策の方向性と主な取組 修正案

【自然と共生するまち】現状と課題

〈環境ビジョン〉

自然と共生
するまち

豊かな自然や水環境の中に多様な生物が生息し、
私たちと共に暮らしている

〈現状と課題〉

- 私たち人間の活動による気象・水環境などの変化が、在来生物の生息環境に大きな影響を及ぼしている。一方で、これまでの環境回復への取組により、ホンモロコなどの琵琶湖固有種に増加傾向がみられている。今後も生物多様性を守るための継続した保全活動と在来種が生息しやすい環境の創出が必要である。
- 宅地開発が進んでいるものの、市民や環境団体等の長年の活動により、ホタルの飛翔を見ることができている。今後も、ホタルが自生できる水辺環境を増やしていく必要がある。
- 市内8つの河川が流入する赤野井湾では、汚濁や富栄養化が見られ、川からのごみの流入も大きな問題となっている。今後も、湖底ごみ除去活動等により継続して湾内の水質改善に努める必要がある。
- 日常の生活の中で川や水辺の生物などにふれあう機会が少なくなり、水辺環境への関与や関心が失われつつある。水辺の生物や植物の生息環境を守りつつ、人が自然と気軽にふれあえる機会を創出し、水辺環境への意識を高めていく必要がある。
- 担い手不足や経済的な理由等から農業従事者が減少し、農地を維持することが難しくなっている。貯水や生物の生息の場、良好な景観づくりなど農地のもつ多面的な機能を維持するとともに、農地での脱炭素への取組など新たな活用方法も検討する必要がある。

【自然と共生するまち】施策の方向性と主な取組（案）

＜施策の方向性と主な取組＞

施策の方向性

主な取組 …主な取組の内容

1 生物多様性の保全

(1) 在来生物の生息環境の保全と創出

… 琵琶湖や河川等の在来生物が生息できる環境づくり、近江妙蓮等の希少種の保護

(2) ホタルの保全と自生区域の拡大

… ホタルの生息区域の環境維持・改善、ホタルが自生できる環境の創出、飛翔地の調査・分析、環境学習の場としての活用

(3) 自然共生エリアの検討

… 保全・再生が必要な区域の調査、保全や共生エリア創出の検討

(4) 外来種の適切な管理

… 特に生態系に影響を与えるオオバナミズキンバイやアライグマ、ブラックバス等外来種の適切な管理による生物多様性の維持

2 琵琶湖や河川の環境改善

(1) 琵琶湖の環境改善

… 赤野井湾や木浜内湖の水質の回復、河川から流入するごみや湖底ごみの削減、異常繁茂する水草対策（富栄養化の防止等）

(2) 河川の水質改善

… 河川の水質改善の推進、流域の整備や清掃

【自然と共生するまち】施策の方向性と主な取組（案）

<施策の方向性と主な取組>

施策の方向性

■主な取組 …主な取組の内容

3 自然と気軽にふれあえる機会の拡大

(1) 親和性のある水辺環境の整備

(2) 人と自然との関わり合いの充実

(3) 自然を体感できる場の創出

… 親水公園の活用、水辺で遊べる環境づくり

… 湖岸や水田などでの自然体験や観察会の実施、
市内に生息する生物の情報の集積と可視化、自然と共生してきた暮らしや文化に関する情報発信、環境学習の実施

… 琵琶湖周辺や市内を繋ぐサイクリングロードや立ち寄りスポットの整備

4 農地のもつ多面的機能の維持・発揮

(1) 農地の土壌炭素貯留の促進

(2) 環境保全型農業の推進

(3) 営農型太陽光発電の検討

(4) 農地・農業用水路等の保全

… もみ殻燻炭等バイオ炭の活用促進

… 魚のゆりかご水田プロジェクトの推進、有機農業の推進、**農薬の適切な利用啓発**

… 農地や耕作放棄地を活用した営農型太陽光発電による農業者の収入拡大、継続した営農体制の確保

… 濁水の排水防止

【快適に暮らせるまち】現状と課題

＜環境ビジョン＞

快適に暮ら
せるまち

緑豊かな風景と守山らしい景観に人々が愛着をもち、
安心して暮らせる

＜現状と課題＞

- 市街地を中心に住宅開発が進んでおり、今後も人口が増加することが見込まれている。これまで守り継いできた文化的・歴史的な風景を次世代へと繋ぐとともに、市街地におけるみどりの空間やオープンスペースも確保し、**豊かな自然環境や景観を保全しながら、住みよい調和のとれたまちづくりを行っていく**必要がある。
- 近年空き家や空地などが増加傾向にある。これらの適正な管理と活用方法を検討する必要がある。
- 河川改修や雨水幹線の整備が進んだことにより、大規模な水害の危険性は軽減している。一方で、**集中豪雨など近年の気候変動の影響によるものを含めた災害への備え**が必要である。また、**非常時にも地域内でエネルギーを賄えるような仕組みを整備**する必要がある。
- 地球温暖化による気温上昇や降水量の変化などにより、熱中症や感染症の発生リスクが高まる可能性がある。滋賀県でも**近年熱中症の救急搬送者数が増加しており、熱中症を予防するための取組や注意喚起を行う**必要がある。
- 温暖化が私たちの暮らしを脅かしつつある今、**エネルギー消費を減らしながら生活の質を高めていく**ことが必要である。例えば、断熱性能が低い住宅は、冬の室内気温が低いため、血圧の上昇やヒートショックなどの健康被害を引き起こしやすくなる。しっかりと断熱された居住空間を整えることは、脱炭素だけでなく健康的な生活にも繋がる。

【快適に暮らせるまち】施策の方向性と主な取組（案）

＜施策の方向性と主な取組＞

施策の方向性

主な取組 … 主な取組の内容

1 豊かな自然と地域資源を活用した環境配慮型のまちづくり

(1) 自然とまちが調和した景観形成

… 公園・湖岸・野洲川等の緑地空間の保全、グリーンインフラの整備、自然環境や地域資源を活用したまちづくりの推進、史跡・遺跡の保護と活用による景観形成

(2) 脱炭素化に向けた環境整備と開発

… 道の駅構想における湖岸エリアの自然環境保全と周辺地域の脱炭素化の検討、企業誘致と併せた脱炭素拠点エリアの検討

(3) 街路樹や公園の樹木など街中での吸収源の確保

… 市街地や公園などの樹木の適切な管理によるCO₂吸収源の確保

(4) 地域特性に応じたコンパクトなまちづくり

… 地域内でエネルギーを有効活用するスマートコミュニティの検討、公共交通等によるまちのネットワークの充実

(5) 空き家や空地等の適正な管理と有効活用

… 空き家や空地等の活用方法の検討

2 良好な生活環境の確保

(1) 公害や騒音等の防止

… 大気・水・土壌の汚染防止、騒音・振動等による被害の防止、事業者との公害防止協定の締結

(2) 有害化学物質の環境への影響の防止

… 有害化学物質の排出抑制、暮らしの中の化学物質の適正利用に関する啓発・情報発信

【快適に暮らせるまち】施策の方向性と主な取組（案）

＜施策の方向性と主な取組＞

3 気候変動の影響も含めた自然災害への備えと健康被害への対策

- (1) 災害時の非常用エネルギー源の確保
- (2) 気候変動の影響による自然災害への適応力の向上
- (3) 健康被害の予防・対策と健康的な生活の推進

施策の方向性

■主な取組 …主な取組の内容

- … 太陽光発電と蓄電池設備の公共施設等への設置
- … 雨水幹線の整備、農地の雨水貯留・涵養機能の活用
- … 水や緑など自然の冷却効果の最大限活用、熱中症予防のための啓発や対処方法の周知、住宅の高断熱化など省エネ性能を高めることによる住生活空間の改善

「資源が循環するまち」「未来へつなぐまち」の 施策の方向性と主な取組について

【資源が循環するまち】現状と課題

＜環境ビジョン＞

資源が循環
するまち

限りある資源を大切に使うとともに、地域資源を最大限に活用する持続可能なまちになっている

＜現状と課題＞

- ごみの処理や運搬は多くのエネルギーを必要とし、二酸化炭素が発生するため、地球温暖化を促進させる要因となる。また、必要以上に物を購入することは、大量生産・大量廃棄を促す。近年、守山市の一人あたりごみ排出量は減少傾向にあるが、ごみの発生に伴う環境負荷を低減するとともに、限りある資源を有効的に活用するためには、循環型社会に向けたさらなる取組が必要である。
- ごみを減らすことは、資源の節約や二酸化炭素の抑制に繋がるが、発生したごみは地域のエネルギー源として活用することができる。もりやまエコパーク環境センターでは、ごみ焼却時の排熱を温水プールの加温に利用したり、廃棄物発電による電力を環境センターで利用したりしているが、余った電力は売電している。この余剰電力を市内施設に供給できれば、エネルギーを地域内で循環させることができる。
- 雨水を貯留し利用することは、水資源の節約になるとともに、下水道や河川等への雨水の集中的な流出を抑えることに繋がる。また、近年多発している局所的な大雨や、都市化による雨水が地下に浸透しない場所の増大は、洪水を引き起こす要因になり得る。水資源を有効利用するとともに、雨水を地下に戻すことで、水資源が健全に循環するようにする必要がある。

【資源が循環するまち】施策の方向性と主な取組（案）

＜施策の方向性と主な取組＞

施策の方向性

■主な取組 …主な取組の内容

1 ごみの減量化と再資源化による循環型社会の構築

(1) 家庭系・事業系ごみの減量化

… 3R（リデュース[排出抑制]、リユース[再利用]、リサイクル[再資源化]）の推進によるごみ量の削減、生ごみの堆肥化促進、市民や事業者への啓発

(2) ごみの資源化と適正処理の促進

… 使用済み小型家電や雑誌等資源物の回収及び適正処理の推進、事業者との連携によるリサイクル・アップサイクルの取組支援、不法投棄への対策

(3) プラスチックの利用削減

… ワンウェイプラスチックの利用削減への啓発

2 廃棄物など未利用資源の活用促進

(1) 環境センターで発電した電力の有効利用

… 廃棄物発電によるCO₂フリー電力を公共施設で活用することによるエネルギーの地産地消

3 健全な水の循環と水利用

(1) 雨水の積極的な利用

… 打ち水や家庭菜園等への雨水利用の推進、水を大切に使うことへの啓発・情報発信

(2) 地下水源の涵養とバランスのとれた地下水利用

… 地下水を利用した環境用水の確保、地下水の水質等の調査、持続可能な地下水利用に関する啓発

【未来へつなぐまち】現状と課題

＜環境ビジョン＞

未来へ
つなぐまち

市民、事業者、行政が協働することで、守山らしい
誇りをもてるまちを将来世代へ受け継ぐ

＜現状と課題＞

- 「環境学習都市」である守山では、自治会や市民活動団体を中心に様々な環境保全活動が行われており、経験やノウハウのある市民が多くいる。また、事業者においても、環境保全や脱炭素社会に向けた特色ある取組が行われている。環境への活動を通して蓄積されている経験やノウハウを、若い世代も含め様々な世代に浸透させ、多くの市民の行動変容を促す必要がある。
- 市内には、様々な生物が生息する水辺環境やびわこ地球市民の森などの自然資源や、歴史・文化資源、農村資源、さらにほたるの森資料館やもりやまエコパーク交流拠点などの環境学習施設が充実している。地域資源を活かした環境学習やエコツーリズム等の積極的な実施により市内外に地域の魅力を伝え、活力あふれるまちにしていく必要がある。
- 環境保全や脱炭素社会に向けた取組を効果的に実施するためには、様々な主体が連携することが必要がある。守山で行われている環境への取組や情報を様々な主体間で共有し合い、共に取り組むことにより、豊かな環境を守り育てるとともに脱炭素化への取組を活発化させていく必要がある。

【未来へつなぐまち】 施策の方向性と主な取組（案）

＜施策の方向性と主な取組＞

施策の方向性

■主な取組 …主な取組の内容

1 持続可能な社会の担い手の育成

- (1) 環境活動に取り組むあらゆる世代の地域人材の育成
- (2) 環境学習施設の有効的な活用

- … 多種多様な環境学習カリキュラムの構築、市内の豊富な人材を活用したSTEAM教育や出前授業などによる地域学習、次世代を担う人材育成
- … ほたるの森資料館やもりやまエコパーク交流拠点施設・環境センター等を活用した環境学習の推進、交流拠点施設のエコミュージアム拠点化

2 守山の環境の素晴らしさの再認識と、魅力を活かした地域の活性化

- (1) 農業や自然など地域資源を活かした事業・取組の推進
- (2) 守山の取組や環境活動等の積極的な発信

- … 地域資源を活用したエコツーリズムや事業創出への支援
- … 市民活動団体や事業者等による先進的な取組や活動の市内外への情報発信、ふるさと納税等を活用した環境事業の促進

【未来へつなぐまち】 施策の方向性と主な取組（案）

＜施策の方向性と主な取組＞

3 連携と共有による環境への取組の活発化

- (1) 市民・事業者・行政の連携による情報の共有化と取組状況の見える化
- (2) 持続可能な守山に向けた自立的な活動と取組の推進
- (3) 様々なステークホルダーとの連携による取組の促進

施策の方向性

■主な取組 …主な取組の内容

- … 様々な主体で行われている取組の情報発信、事業者間の脱炭素に関する情報共有の促進
- … 事業者や自治会、市民活動団体等の先進的な取組に対する支援
- … 事業者・滋賀県・関係団体等と連携した脱炭素に資する環境学習の実施、市内事業者・個人の「しがCO2ネットゼロムーブメント」賛同者の募集（滋賀県との連携）、地域間で連携した環境保全活動、オープンイノベーションの実施

【参考】 前回提示した環境ビジョン

目指す環境ビジョン

環境学習を通して共に学び・考え・行動し、
豊かな地球環境を守り、未来へつなぐ

未来へつなぐまち
(環境学習、地域活性化、連携・協働)

自然と共生
するまち

(生物多様性、水辺環境、
農地保全)

脱炭素を実現
するまち

(地球温暖化対策)

快適に暮ら
せるまち

(景観、緑化、都市整備)

資源が循環
するまち

(廃棄物、雨水利用)